

一般質問

住民要望の道路予算編成を

満足度が得られるよう推進



村松 秀雄



町道駅前梅ノ木線

問 都市計画道路の進捗状況は。

町長 12路線で16450mの計画のうち、整備は11020mで整備率は62%である。

問 都市計画道路の推進は大変厳しくなっている。計画の見直しは。

町長 各路線の必要性などを検討し、関係機関との調整を行い、来年度中に見直し作業を完了する。

問 住民からの道路補修など要望への対応は。

町長 今年度の要望は約200件であるが、現地を確認し予算内で可能なものはすぐに補修する。

できないものは、次年度または年間の中に取り組んでの工事となる。

問 土木費の予算は減少している。住民の要望に予算を増やすべきだ。

町長 地域の要望の7割が道路と側溝である。財政計画への十分な理解も必要であるが、住民の満足が得られるよう事業を推進したい。

人員削減による課と人員配置は

大変な状況であり検討工夫する



委員会で検討し工夫する。

問 参事職は、廃止すべきであると考えが。

町長 現時点で廃止は決定していない。定員適正化計画実施のために検討していく。

問 能力、実務主義による人事評価は。

町長 本町に合った評価制度案を検討中である。早急に結論を出したい。

問 自治基本条例の制定と運用は。

町長 住民自治に係る個別制度や行政運営の基本に係る制度を確立し、十分に運用してから条例制定の検討を始めても遅くはないと考えている。

問 定員適正化計画は。

町長 計画では21年4月で301人だが、実職員数は297人である。

町長 各課が大変な状況と聞いている。事務改善